

今、何の病気が流行しているか！



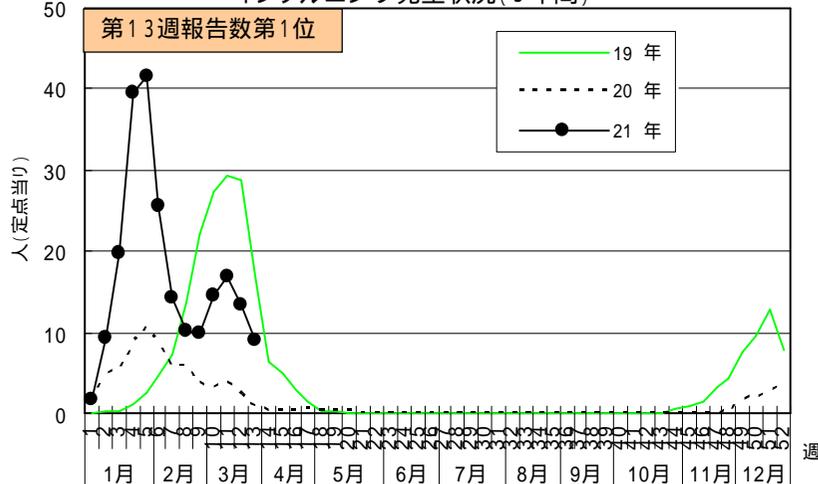
KAWASAKI CITY

【感染症発生動向調査事業から】

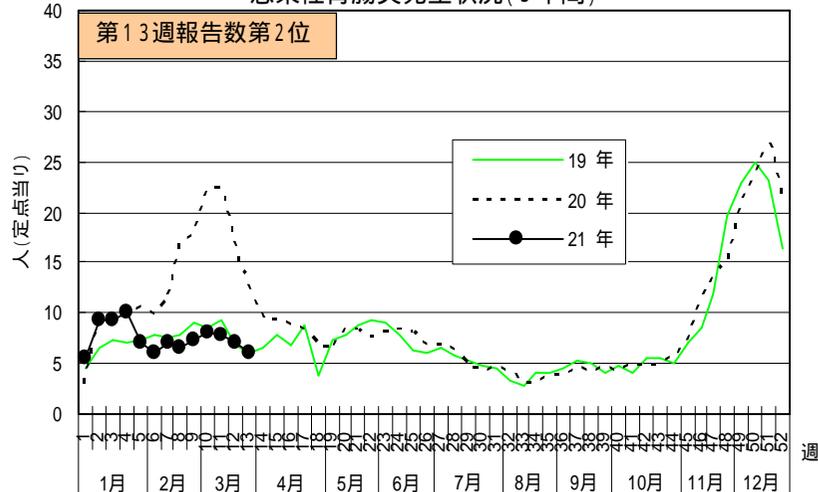
平成21年3月23日(月)～3月29日(日)[平成21年第13週]の感染症発生状況

第13週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ、2)感染性胃腸炎、3)水痘の順となっています。インフルエンザの報告数が2週続けて減少しました。ピークは過ぎています。市内北部(高津区、宮前区、多摩区)では流行発生注意報基準値(定点当たり10人)を超えていますので、引き続き注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘 (みずぼうそう)

第13週の報告数第3位の疾病である水痘は、『みずぼうそう』ともいわれ、带状疱疹と同じウイルスによって起こる伝染性疾患です。通年で発生しますが、例年冬から春にかけて発生が多く、夏から初秋に減少する傾向があります。

第13週の報告数は66件(定点当たり2.00人)となり、前週より25件増加しました。患者は幼児、学童期前半が多くなっています。

感染経路：水疱中のウイルスを含む飛沫や飛沫核による空気感染。

潜伏期間：平均10～21日(多くは14～16日)

主な症状

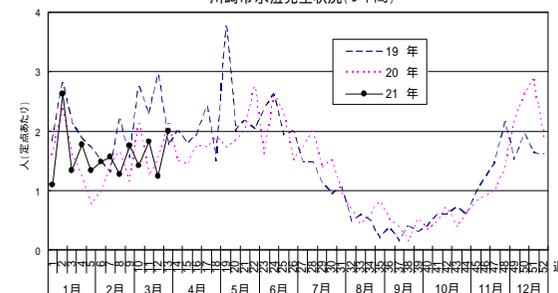
発熱と倦怠感、それと同時に、お腹や背中に赤い発疹が出ます。発疹は水疱となり急激に全身に広がります。水疱は3～4日後に乾燥し、黒褐色のかさぶたとなります。細菌性の2次感染が無ければ、通常後は残りません。気をつけたいこと

感染力が強く、最初の水疱が現れる1～2日前から、すべての水疱がかさぶたになるまでは、他の人に感染を起こすことがあります。

感染したら、学校等を休んで、通院以外の外出は控えましょう。

水痘は学校保健法の第2種の感染症に指定され、すべての発疹が痂皮化するまで(かさぶたになるまで)出席停止になります。(ただし、感染のおそれがないと医師が認めたときはこの限りではありません。)

川崎市水痘発生状況(3年間)



麻疹・風しんの定期予防接種(1期～4期)のお知らせ

- ・1歳の誕生日を迎えた方は、麻疹・風しんの予防接種を忘れずに受けましょう。(第1期) 公費負担で予防接種が受けられるのは1歳から2歳未満です。
 - ・平成22年4月に小学校入学予定の方は、麻疹・風しんの予防接種を受けられます(第2期)。
 - ・平成20年4月1日より、5年間の期限付きで中学1年生相当年齢(第3期)と高校3年生相当年齢(第4期)の方を対象にした麻疹・風しんの定期予防接種が始まっています。
- 今年度2～4期対象の方がワクチン接種を公費負担で受けられるのは平成22年3月31日までです。

発行 川崎市健康福祉局疾病対策課(健康安全室)・衛生研究所・各区保健福祉セン